

2022年度兵庫大学地域活動報告

兵庫大学ボランティアセンター

ボランティアセンター理念・目的

兵庫大学ボランティアセンターでは、ボランティア活動の3原則といわれる「自発性」「無償性」「利他性」をもとに、大学で学んだことを活かし、地域社会の諸課題を解決するために、考えるだけでなく自ら行動し、市民としての社会的役割を果たすことをボランティア活動の目的としています。

第36回防災のつどい 防災フェスタ2022

防災フェスタは、加古川市保安防火協会、加古川市消防本部、稲美町及び播磨町が主催で行われます。加古川市、稲美町、播磨町に住む皆様の防火防災意識を高めることを目的として毎年開催しています。

フェスタ形式で開催し、大学生がステージ上で会場を盛り上げ、消火器体験、防災士による啓発など楽しく防災について学べる体験や展示を行いました。

活動状況



3年ぶりに地元加古川市で「防災啓発活動」を実施しました。ステージパフォーマンスでは「オリジナル体操」「手遊び」「ダンス」などを披露しました。

参加者の皆様を楽しみながら防災に関する知識を身につけ、興味をもってもらえるよう工夫しました。

また、保育現場の先生方や保護者の方々と関わる機会があり、保育現場などにかける経験とスキルを身につけチームワークの大切さを体験する貴重な社会活動となりました。

なごみカフェ



なごみカフェは、認知症者とその家族の方たちと共に認知症を考える場として発足しました。

大学教員の専門性を活かしたミニレクチャーと、学生と参加者が生豆焙煎から協力して準備し、炊きたてコーヒーを味わいながら語り合う2部構成で実施しています。

学内での実施のみならず、大学から飛び出し「県営住宅」や「介護福祉施設」などでも実施し地域の方々との交流をしました。

県営住宅活動状況



地域の皆様とカフェを通して交流しました。参加者からは「ずっと家にいたけど、参加してみんなと交流できて嬉しかった」「元気が出ました」とのこと。もっと地域の方々に来てやすいような環境作りをしていきたいと思えます。

介護福祉施設活動報告



施設利用者の多くの方と交流することが出来ました。カフェを通じて、利用者同士で仲良くなったと聞くと、地域でカフェをする意味を感じることができました。